



## ● 現状と課題（配慮すべき社会情勢）

子ども・子育て環境は、子育てと就労の両立が求められる中で、急速な少子化の進行、核家族化の進行などによって、近年大きく変化しています。

また、教育の分野においては、環境教育・情報モラル教育\*・キャリア教育\*の実施など、新しい時代に対応していくことが求められている中で、いじめや不登校、基礎学力・体力の低下、家庭や地域の教育力の低下、子どもの貧困の深刻化などが指摘されています。

今後は、社会情勢に十分配慮しながら、子育て環境に応じた更なる支援と教育の充実を図っていく必要があります。

## ● 施策の方向性

子どもたちが健やかに育ち、様々な力を育める環境を作ります。

また、どのような家庭環境にある人でも、安心して子育てができるよう、地域社会の絆により次代を担う子どもたちを育てていく、支援環境を構築します。

地域における子育て支援の充実を図るとともに、義務教育終了までに、すべての子どもが自発的に行動できるよう、社会で生きていく基礎を身につけることを支援します。

### 施策体系

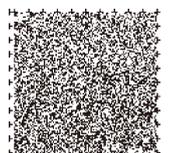
#### 第2章

#### 子どもが大切にされるまち

第1節	子ども支援
第2節	子ども福祉
第3節	子育て環境
第4節	青少年健全育成
第5節	学校教育

\*情報モラル教育…情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度、スキルを身につけるための教育。

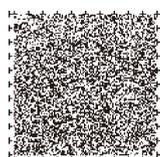
\*キャリア教育…学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につけるための教育。



## 分野別の主な計画

計画名	計画期間	計画概要
所沢市子ども・子育て支援事業計画（ところっこすくすくサポートプラン） （こども政策課）	平成27（2015）年度～ 令和元（2019）年度の5年	市の宝である子どもたちのしあわせを第一に考え、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを支援する環境づくり、地域社会全体の仕組みづくりなど、子ども・子育て支援に関する施策を総合的に推進するための計画です。
第2次所沢市ひとり親家庭等自立支援計画 （こども支援課）	平成26（2014）年度～ 令和元（2019）年度の6年	ひとり親家庭等の子どもたちが健やかに成長していける環境を確保するため、安心して子育てができる環境づくりとひとり親家庭及び寡婦*の自立に向けた総合的な支援に取り組む計画です。
第4次所沢市障害者支援計画（障害児福祉計画） （こども福祉課）	平成30（2018）年度～ 令和2（2020）年度の3年	所沢市障害者計画及び所沢市障害福祉計画と一体的に策定し、障害児通所支援及び障害児相談支援等の提供体制の確保、その他障害児に対する支援の円滑な実施に関して定めた計画です。
所沢市放課後こども健全育成基本方針 （青少年課）	平成23（2011）年度～ ※平成28（2016）年度改定	小学生児童の放課後について、基本方針である「『笑顔あふれる ところっこ』地域みんなではぐくもう」の実現にむけ、地域・学校・保護者・行政が連携し取り組みを進めることなどを定めた計画です。
第2次所沢市教育振興基本計画【再掲】 （教育総務課）	令和元（2019）年度～ 令和5（2023）年度の5年	教育委員会が今後5年間を通してめざす方向性や基本理念を示し、施策を体系化したものです。
第3次所沢市子どもの読書活動推進計画【再掲】 （所沢図書館）	令和元（2019）年度～ 令和5（2023）年度の5年	子どもたちがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるようにするための施策の方向性や取り組みを示した計画です。
所沢市いじめ防止基本方針 （学校教育課）	平成26（2014）年2月～	「いじめ防止対策推進法」第12条に定める、本市におけるいじめの防止等の対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針です。 平成29年7月に「埼玉県いじめの防止等のための基本的な方針」が改定され、これを受け平成29年8月に「所沢市いじめ防止基本方針」を改定しました。

\*寡婦…夫と死別または離別し、再婚していない女性のこと。



# 1 子ども支援



## 現状・これまでの主な取り組み

- 平成29年1月にこども支援センター「大地」において子育て支援事業を開始し、子育てに関する相談や親子同士の交流の場の提供を行っています。
- 利用者支援専門職員<sup>※</sup>を配置し、教育・保育施設や地域の子育て支援等の利用について、家庭環境や保護者の就労状況等に応じた情報提供や助言を行うとともに、子育てに関する相談を行っています。

## 課題

- 利用者の声を踏まえながら、よりよい支援につなげていく必要があります。
- 子育てに関する相談内容が多岐にわたるため、関係機関との連携をより一層充実していく必要があります。

## 評価指標

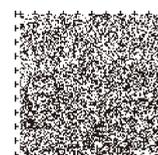
指標名	単位	現状	年度別目標					
			R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
こども支援センター（子育て支援）の利用者満足度	%	H29 98.35	100	100	100	100	100	100

こども支援センター（子育て支援）の利用者の満足度を測る指標です。

**現状** 平成29年度の利用者に対するアンケートで「こども支援センター（子育て支援）の事業内容等について満足している」と答えた人の割合です。

**目標** 毎年度100%をめざすものです。

※利用者支援専門職員…子育て支援事業等の情報提供、相談・助言を行う職員。子育てコンシェルジュとも呼ぶ。



# 基本方針

## [2-1-1] 子どもの育成支援の充実

次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくります。

特に、こども支援センター「大地」においては、子育て支援エリアと発達支援エリアが併設されている特徴を生かして、子どもと家族を支援します。

## [2-1-2] 子育て家庭への支援の充実

関係機関と連携し、子育て家庭の状況に応じた相談体制や支援の充実を図るとともに、情報提供を行います。

## [2-1-3] 地域における子育て支援の充実

身近な地域の中で安心・安全な子育てができるよう、様々な地域のつながり（絆）や活動を通して子育てを支援します。

## 事業目標

基本方針	2-1-1	単位	現状	年度別目標					
こども支援センター（子育て支援）の利用者数	人	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		85,856	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	

こども支援センター（子育て支援）を利用している人数を示す指標です。

**現状** 平成29年度にこども支援センター（子育て支援）を利用した延人数です。

**目標** 毎年度60,000人以上をめざすものです。

基本方針	2-1-2	単位	現状	年度別目標					
ところっこ子育てサポート事業*相談件数（基本型・特定型）	件	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		872	900	900	900	900	900	900	

子育て家庭を対象とした相談件数を示す指標です。

**現状** 平成29年度のところっこ子育てサポート事業において利用者支援専門職員が相談を受け付けた件数です。

**目標** 毎年度900件以上をめざすものです。

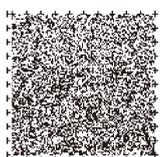
基本方針	2-1-3	単位	現状	年度別目標					
ファミリーサポート事業*の年間利用件数	件	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		12,155	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	

子育て支援体制の充実度を示す指標です。

**現状** 平成29年度のファミリーサポート事業を利用した延件数です。

**目標** 毎年度17,000件以上をめざすものです。

※目標値については、平成30年度より集計方法が変更になったことによる見込み値です。



※ところっこ子育てサポート事業…利用者支援専門職員（子育てコンシェルジュ）を配置し、子育てに関することや、幼稚園・保育園の入園及び地域の子育て支援センターの利用方法等について、個別に相談を受け、各家庭に応じた支援を行う事業。  
※ファミリーサポート事業…育児の援助を受けたい者（利用会員）と育児の援助を行いたい者（援助会員）を結びつけることで、仕事と育児を両立させるための環境整備と子育て支援の充実を図る事業。



## こども支援センター「大地」ってどんなところ？

「こどもと福祉の未来館」の2階にあるこども支援センター「大地」には、子育て支援エリア「ルピナス」と発達支援エリア「マーガレット」があります。

お互いが連携をとりながら、子どもたちが健やかに成長できるように、子育て家庭を支援しています。

### ○子育て支援エリア「ルピナス」

#### ・交流施設（ひろば）

4歳未満の乳幼児の親子が安心してゆったり過ごすことができ、親子同士が気軽に交流できる空間を提供しています。



#### ・ところっこ子育てサポート事業（子育て相談）

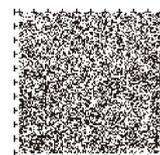
利用者支援専門職員（子育てコンシェルジュ）を配置し、子育てに関する相談や市内の保育園、幼稚園などの施設などの利用について助言、情報提供を行います。



### ○発達支援エリア「マーガレット」

発達障害またはその心配がある18歳未満の子どもとその保護者に対し、早期からの相談支援や子どもの特性に応じた発達支援、地域支援を行います。

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の研究事業と連携して事業を運営しています。



# 2 子ども福祉



## 現状・これまでの主な取り組み

- 平成29年1月にこども支援センター「大地」において、発達支援事業を開始し、発達障害やその心配のある子どもの相談や通所支援等を行っています。
- 児童虐待に関する相談や通告に迅速に対応し、必要な確認・指導・支援を行っています。また、広く虐待防止に関する啓発を行っています。
- ひとり親家庭等の自立に必要な情報提供や指導、就労支援等を行っています。

## 課題

- こども支援センター発達支援事業の支援体制の充実に向けて、地域の関係機関との更なる連携が必要です。
- 児童虐待を防止するために関係機関や民生・児童委員等との連携強化、市民への更なる啓発が必要です。
- 近年、家庭状況が多様化し、相談内容も多岐にわたるため、研修等による支援者の更なるスキルアップが求められています。

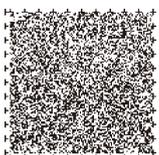
## 評価指標

指標名	単位	現状	年度別目標					
			R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
こども支援センター（発達支援）の利用者満足度	%	H29 93	100	100	100	100	100	100

こども支援センター（発達支援）の利用者の満足度を測る指標です。

**現状** 平成29年度の利用者に対するアンケートで「こども支援センター（発達支援）の事業内容等について満足している」と答えた人の割合です。

**目標** 毎年度100%をめざすものです。



# 基本方針

## [2-2-1] 障害児支援の充実

地域の関係機関と連携しながら、こども支援センター発達支援事業の充実を図ります。  
また、障害児に対する理解促進を図ります。

## [2-2-2] 養育環境に配慮した支援の充実

関係機関と迅速・適切な連携を行い、児童虐待の未然防止を図ります。  
また、ひとり親等の相談に応じるとともに、その自立を支援します。

## 事業目標

基本方針	2-2-1	単位	現状	年度別目標					
こども支援センター（発達支援）の利用者数	人	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
		19,517	21,800	21,900	22,000	22,100	22,200	22,300	

こども支援センター（発達支援）を利用している人数を示す指標です。

**現状** 平成29年度にこども支援センター（発達支援）を利用した人数です。

**目標** 毎年度100人の増加をめざすものです。

基本方針	2-2-2	単位	現状	年度別目標					
児童家庭相談の件数	件	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
		844	900	900	900	900	900	900	

子どもに関する相談体制の充実度を示す指標です。

**現状** 平成29年度のこども相談センターが対応した児童家庭相談件数です。

**目標** 毎年度900件以上をめざすものです。



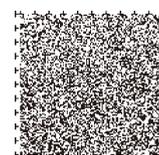
大地おやこまつり



こども相談センター 相談室



かしの木学園の夕涼み会



# 3

## 子育て環境



### 現状・これまでの主な取り組み

- 就学前児童が利用する教育・保育施設の子ども・子育て支援新制度<sup>※</sup>への移行を支援しています。
- 認可保育園の開設や既存施設の定員拡大、認定こども園<sup>※</sup>への移行により、保育の受け入れ人数の拡大を進めています。
- 留守家庭児童を対象とする児童クラブと全児童を対象とする「ほうかご広場<sup>※</sup>」を一体的に運営する中富小放課後児童対策一体運営事業を導入しました。

### 課題

- 就学前児童の減少が見込まれていますが、社会状況等の変動による教育・保育施設の利用率等を勘案のうえ、施設の整備や支援内容の充実が必要です。
- 放課後児童クラブ<sup>※</sup>や保育施設等の施設における人材確保の支援策の検討が必要です。
- 放課後の児童の居場所づくりを進めるため、放課後児童クラブの受け入れ人数の拡大や放課後児童対策一体運営事業の推進が必要です。

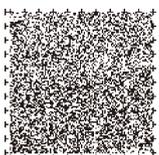
### 評価指標

指標名	単位	現状	年度別目標					
			H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5
就学前児童の保育待機児童数	人	26	10	5	0	0	0	0

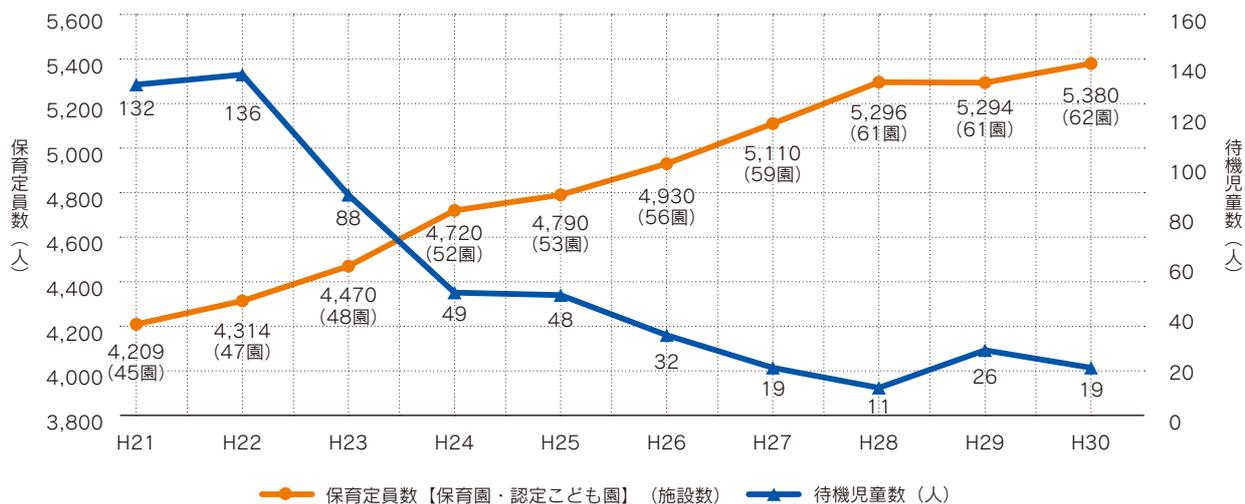
国が実施する保育所等利用待機児童数調査の際に示される要領に基づき算出した、就学前児童の保育にかかる待機児童数を示す指標です。

**現状** 平成29年4月1日現在の待機児童数です。

**目標** 令和3年度までに、0人をめざすものです。



※子ども・子育て支援新制度…平成27年4月から始まった、子育てを取り巻くさまざまな課題を解決するための、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充と質の向上をめざす制度。  
 ※認定こども園…幼稚園と保育園の機能・特長を併せ持ち、保護者の状況に関わりなく子どもたちが一緒に教育・保育を受けられる施設。既存の幼稚園が認定こども園に移行すると、保育園の機能が加わり、保育の受け入れ人数が拡大する。  
 ※ほうかご広場…小学校に通う全ての児童を対象とし、安全・安心な居場所を確保するとともに、異年齢児間の遊びや学びを通じた交流を促進し、地域住民による児童の健全育成を目的とする事業。  
 ※放課後児童クラブ…保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や夏休み等に適切な遊びや生活の場を提供し、その健全育成を目的とする事業であり、児童館の生活クラブ及び児童クラブで実施している。



保育定員数及び待機児童数の推移



中富小放課後児童対策一体運営事業  
まゆだま



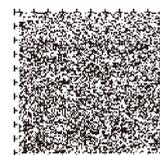
中富小放課後児童対策一体運営事業  
運動遊び



保育研修会  
(人形を使用した実技演習)



保育園の庭で遊ぶ子どもたち



# 基本方針

## [2-3-1] 幼児教育の支援

幼稚園就園奨励費<sup>\*</sup>等の補助を行い、幼児教育の振興に努めます。

また、幼稚園型一時預かり事業（預かり保育事業を含む）等の実施により教育環境の充実を図ります。

## [2-3-2] 就学前児童の保育の充実

保育の待機状況等を踏まえ、既存施設からの認定こども園への移行等により、保育の量の拡大に努めます。

また、多様な保育ニーズに対応するための各種事業の充実を図るとともに、保育従事者の確保や研修等により質の高い保育をめざします。

## [2-3-3] 放課後児童クラブの充実

放課後児童クラブの施設整備や民設民営児童クラブの設置、放課後児童対策一体運営事業の推進などにより児童の居場所づくりに努めます。

また、保育従事者の確保や研修、放課後児童クラブに対するモニタリング<sup>\*\*</sup>等により、育成支援の向上を図ります。

## 事業目標

基本方針	2-3-1	単位	現状	年度別目標					
			H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
幼稚園型一時預かり事業の利用者数	人		104,651	104,700	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000

幼稚園型一時預かり事業（私立幼稚園預かり保育事業含む）を利用している人数を示す指標です。

**現状** 平成29年度の延利用者数です。

**目標** 令和2年度までに、105,000人をめざし、その後、維持をめざすものです。

基本方針	2-3-2	単位	現状	年度別目標					
			H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
就学前児童の保育施設の利用者数	人		5,572	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,000

就学前児童の保育施設を利用している人数を示す指標です。

**現状** 平成29年4月1日現在の利用者数です。

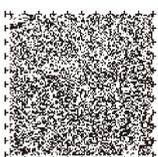
**目標** 令和3年度までに、最大6,000人が利用できることをめざすものです。

基本方針	2-3-3	単位	現状	年度別目標					
			H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
放課後児童クラブの利用者数	人		2,250	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458

就学児童の児童館生活クラブ及び児童クラブを利用している人数を示す指標です。

**現状** 平成29年4月1日現在の利用者数です。

**目標** 毎年度、必要なサービス量である2,458人をめざすものです。



<sup>\*</sup>幼稚園就園奨励費…新制度へ移行していない私立幼稚園に、お子さんを通園させている保護者の方が支払う保育料等の一部を対象とした補助金。

<sup>\*\*</sup>モニタリング…市が、委託事業者に対し、事業が適切かつ確実に実施されているかを継続的に確認・検証し、サービス水準の向上を図る。

# 4 青少年健全育成



## 現状・これまでの主な取り組み

- 青少年育成所沢市民会議などの団体により、青少年対象の各種スポーツ大会や郷土かるたを活用した事業等を実施しています。
- 児童館管理運営に民間活力を導入し、開館日数の増加や事業の多様化により、利用者数の増加を図っています。
- 子ども・若者を対象とした相談窓口の情報を「子ども・若者支援ガイド」としてとりまとめました。
- 自然体験活動等を通して、子どもたちのたくましく生きる力を育むために、事業の開催及び団体の支援を行っています。

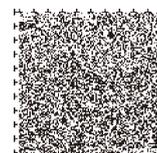
## 課題

- 「三つ葉の提言<sup>※</sup>」の普及や行動目標の実現に向けた取り組みが重要です。
- 児童館等において民間のノウハウを活用し、更なる地域連携を図りながら、事業を充実させることが必要です。
- 「子ども・若者支援ガイド」の周知及び活用などにより、様々な悩みを抱える子ども・若者を相談機関につなげていくことが必要です。
- 子どもの健全育成のため、子ども会活動等を支援するなど体験活動の充実を図ることが必要です。



所沢市子ども・若者支援ガイド（H30改訂版）

※三つ葉の提言…所沢市青少年問題協議会が「青少年を健やかに育むために—今・私たちが出来ること—」としてまとめた提言。家庭・地域・学校が連携し青少年の健全育成に取り組むことが重要として、四つの行動目標や実践項目を掲げている。



## 評価指標

指標名	単位	現状	年度別目標					
			H29	R元	R2	R3	R4	R5
青少年健全育成に関する施策の満足度	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
		28.0	28.5	29.0	29.5	30.0	30.5	31.0

青少年健全育成の施策に対する市民満足度を測る指標です。

**現状** 平成29年度の市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「青少年健全育成」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。

**目標** 毎年度0.5ポイントの増加をめざすものです。



かるた大会

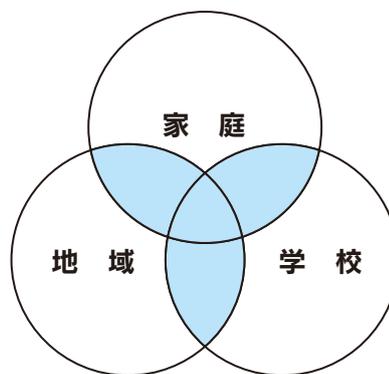


スポーツ大会



スポーツ大会

### 「三つ葉の提言」 所沢市青少年問題協議会 提言 (H17.3)

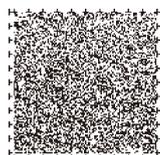


家庭・地域・学校と三つの領域が重なる所を三つ葉にたとえ、家庭でも地域でも学校でも、どこでも子どもたちに声をかけ、あいさつし、時には注意し、大人が自信を持って教育力を高めていきましょう。

### 「四つの行動目標」

- I 家庭のあり方をもう一度見つめなおそう
- II 地域社会の持つ「地域力」を高めよう
- III 家庭・地域・学校の連携を深めよう
- IV 子どもの生きる力を信じて夢を与えよう

三つ葉の提言



# 基本方針

## [2-4-1] 家庭・地域・学校みんなで青少年の健全育成

家庭・地域・学校が、それぞれの役割を再認識し、「三つ葉の提言」の行動目標に基づき、連携して青少年の健全育成に取り組みます。

## [2-4-2] 青少年健全育成の支援

児童館や青少年育成の市民団体等が実施する各種生活・文化・スポーツ等の事業を支援することで青少年の健全育成を図ります。

また、様々な悩みを抱える子ども・若者を相談機関につなげ、さらに若い世代特有の傾向に即した、自殺防止対策を行います。

## [2-4-3] 青少年の教育及び体験活動の充実

豊かな感性を育むため、様々な体験活動の機会を広げ、多方面からの環境づくりを進めるとともに、地域に根ざした事業の開催を支援します。

## 事業目標

基本方針	2-4-1	単位	現状	年度別目標					
「三つ葉の提言」の配布数	件	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		3,353	3,400	3,400	3,400	3,500	3,500	3,500	

家庭・地域・学校が連携を深めて青少年健全育成を図る目的で策定した「三つ葉の提言」の普及状況を図る指標です。

**現状** 平成29年度に「三つ葉の提言」(概要版を含む)を街頭キャンペーン等にあわせて配布した数です。

**目標** 令和6年度までに3,500件をめざすものです。

基本方針	2-4-2	単位	現状	年度別目標					
児童館利用者数	千人	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		364.9	現状値以上						

青少年の健全育成活動の推進状況を示す指標です。

**現状** 平成29年度の市内11児童館における利用者延人数です。

**目標** 毎年度、現状値以上をめざすものです。

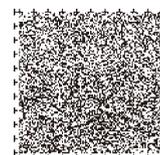
基本方針	2-4-3	単位	現状	年度別目標					
所沢こどもルネサンス事業※ 参加率	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		27	27.5	28	28.5	29	29.5	30	

青少年の体験活動への参加状況を測る指標です。

**現状** 平成29年度の所沢こどもルネサンス事業への市内児童生徒の参加率です。

**目標** 令和6年度までに30%をめざすものです。

※所沢こどもルネサンス事業…青少年教育の振興を目的として、所沢こどもルネサンス実行委員会が行う、こどもたちの感性や表現力を養うための音楽・演劇・文学など様々な分野の体験活動。



# 5

## 学校教育



### 現状・これまでの主な取り組み

- 学力向上に向けて、授業研究、家庭学習の啓発、地域行事への参加を進めています。
- 学力向上支援講師<sup>\*</sup>、学習支援員<sup>\*</sup>、特別支援教育支援員<sup>\*</sup>、心のふれあい相談員<sup>\*</sup>など、県内でもトップクラスの人的配置を進めています。
- 「いじめ問題対策委員会」を設置し、いじめの予防と、早期発見、早期解決の取り組みを進めています。
- 教職員の専門性を高める研修会や研究を行っています。
- 学校給食センターの老朽化に伴い、再整備の検討を進めています。
- 学校トイレの改修、非構造部材<sup>\*</sup>の耐震化改修など、学校環境の改善を進めています。
- 児童生徒の体力向上に関する調査・研究を進めています。
- 所沢市教育大綱<sup>\*</sup>を策定しました。

### 課題

- 主体的・対話的で深い学びを通じた児童生徒の学力向上と、教職員の研修が必要です。
- 学校・家庭・地域が連携した取り組みを通して、学校への人的配置の充実が必要です。
- いじめ・不登校・非行問題行動の未然防止、早期対応、早期解決が必要です。
- 安心・安全な学校給食を、安定的に提供していくことが必要です。
- 学校施設の老朽化対策として、財政状況を勘案しながら施設改修工事や修繕を進めるとともに、暑さ対策としての空調設備の整備についても検討が必要です。
- 学習環境の整備・充実を計画的に進めるとともに、経済的な理由により援助を必要としている世帯への支援を行うことが必要です。

※学力向上支援講師…児童生徒の個に応じた指導の充実により学力向上を図るとともに、教員の教材研究や一人一人の児童生徒に向き合う時間を確保することを目的として任用された市費の講師。

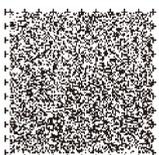
※学習支援員…少人数指導など個に応じた指導の充実を図るために任用された市費の支援員。

※特別支援教育支援員…小・中学校の通常の学級に在籍する教育上支援を必要とする児童生徒に対して、学習支援、日常生活上の介助等の支援を行うために任用された市費の支援員。

※心のふれあい相談員…小・中学校における相談活動や家庭訪問等を行い、不登校やいじめ問題の未然防止や解消を図るために任用された市費の相談員。

※非構造部材…柱、梁、床などの構造体ではなく、天井材や外壁（外装材）など、構造体と区分された部材の事。  
（具体的には、バスケットゴール、窓、ガラス、本棚、下足箱など。）

※所沢市教育大綱…「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項における「地方公共団体の長は、地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする」との規定を受けて、所沢市では「所沢市総合教育会議」での協議の結果を受けて、平成30年4月に「所沢市教育大綱」を策定した。



## 評価指標

指標名	単位	現状	年度別目標					
埼玉県学力・学習状況調査における学力レベルの伸び	レベル (※)	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
		2	2	2	2	2	2	2

確かな学力の育成の達成度を示す指標です。

**現状** 平成29年度の埼玉県学力・学習状況調査における小4から小5、小5から小6、中1から中2、中2から中3への各教科（国語、算数・数学、英語）の学力レベルの伸びの平均です。

**目標** 毎年度2.0以上の学力レベルの伸びをめざすものです。

※「どのくらい難しい問題を解く力があるか。」を学力のレベルで表している。レベルが上がるほど、難易度の高い問題を解く力がある。

## 基本方針

### [2-5-1] 確かな学力と自立する力の育成

子どもたちがこれからの予測困難な社会をたくましく生き抜いていくため、主体的に学ぶことができるよう、学校・家庭・地域で連携・協働して取り組みます。

教師の専門性を高めるため、研修体制の充実を図ります。

### [2-5-2] 豊かな心の育成

「特別の教科 道徳」の授業を充実させ、道徳性を育み、いじめを許さない意識を醸成します。

自然体験・地域との関わり、読書活動などの機会を設け、豊かな情操を養います。

相談活動の充実を図り、悩みや諸問題への対応力の育成を図ります。

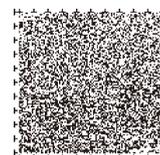
### [2-5-3] 地域が信頼する学校づくりの推進

地域とともに歩む学校を構築するために、各学校が地域の特性を踏まえ、創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進します。

指導体制を充実させ、教師力・学校組織力の向上を図ります。



学校ファームにて地域の方々とふれあい学ぶ  
農業体験



## [2-5-4] 健やかな体の育成

子どもたちに望ましい食生活と生活習慣を身に付けさせるとともに、体力を向上させるための機会と環境をつくれます。

安心・安全な学校給食を安定的に提供するため、老朽化した学校給食センターの再整備を図ります。

## [2-5-5] 学校環境整備の推進

トイレ改修や空調設備の整備、校舎内装木質化などを進め、学校環境の改善を図ります。

校舎等の老朽化対策を計画的に実施します。

## [2-5-6] 学習環境の整備

授業・校務におけるICT環境\*や学校備品等について、計画的な整備を行います。

経済的に困窮し、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行います。

## [2-5-7] 教育環境の充実

教育環境の充実を図るため、特色ある私立学校の誘致等を進めます。



市内中学校の合唱コンクール  
(所沢市市民文化センターミュージアムにて)

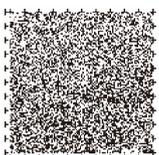


## 電子黒板を活用した、これからの授業

電子黒板によって、教師は教科書の図を大きく提示し、書き込みをしながらわかりやすく説明すること、手元の動きを大きく提示してポイントを示すことが可能となります。また、視覚に訴えることで児童生徒の学習への集中度や、興味・関心を高めることができます。さらに、児童生徒が相手にわかりやすく発表したり、画面上に複数の意見を並べ共有したりして、思考力や表現力を高めることにもつながります。



\* ICT環境…パソコンなどのコンピュータ関連機器を活用できる環境。



# 事業目標

基本方針	2-5-1	単位	現状	年度別目標					
学力向上推進事業*における研究委託校数	校	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		20	現状維持						

各学校における研究実践とその成果の発表により、市内全小中学校の教育力向上を図るために研究を委託した学校数を示す指標です。

**現状** 平成29年度の学力向上推進事業における市内小中学校の研究委託校数です。

**目標** 現在の研究委託校数の維持をめざすものです。

基本方針	2-5-2	単位	現状	年度別目標					
いじめ解消率の小・中の割合※	%	H29※	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		51.2	60	61	62	63	64	65	

「豊かな心を育成する」教育の充実に取り組んだ成果を測る指標です。

**現状** 平成29年度（12月末時点）におけるいじめ解消に至った割合です。

**目標** 令和6年度までに65%をめざすものです。

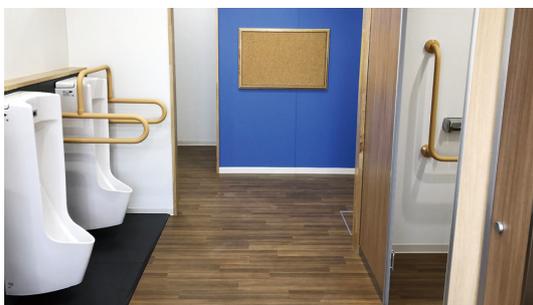
※平成29年度に「いじめ解消」の要件が変更となりました。「いじめ解消」状態とは、3ヶ月を目安とした相当期間いじめ行為が止んでいることと、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが新たな要件となります。

基本方針	2-5-3	単位	現状	年度別目標					
特色ある学校づくり支援事業で活用した地域人材の人数	人	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		5,603	6,110	6,110	6,110	6,110	6,110	6,110	

特色ある学校づくり支援事業で活用した地域人材の人数です。

**現状** 平成29年度の市内小中学校において学校応援団として活動に携わった延人数です。

**目標** 毎年度、埼玉県の1校あたりの地域人材活用平均想定人数である6,110人（平成29年度の県実績数）をめざすものです。

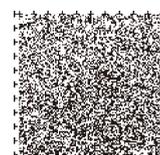


トイレ改修後



親子料理教室

※学力向上推進事業…学校・家庭・地域が一体となり、地域総がかりで児童生徒の学ぶ力の向上を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、家庭学習の定着、幼保小の連携促進などを行い、学力向上の推進を図る事業。



基本方針	2-5-4	単位	現状	年度別目標					
学校給食センターの再整備	—	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		調査	調査	検討	検討	設計	建設	運営	

学校給食センター再整備の取り組み状況を示す指標です。

**現状** 平成29年度の状況です。

**目標** 令和6年度中からの運営をめざすものです。

基本方針	2-5-4	単位	現状	年度別目標					
学校給食における残食率	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		6.3	7	7	7	7	7	7	

1年間の市内小中学校の給食の配食量に対する残食量の割合を示す指標です。

**現状** 平成29年度の市内小中学校の合計の残食率です。

**目標** 毎年度、残食率7%以下をめざすものです。

基本方針	2-5-4	単位	現状	年度別目標					
体力テストにおける上位ランクの生徒の割合（中学校）	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		87.9	88.2	88.4	88.6	88.8	89.0	89.2	

新体力テストの総合評価（文部科学省が示すテストの種目ごとの得点から換算）が5段階中の上位3ランクの評価となった生徒の割合を示す指標です。

**現状** 平成29年度における割合です。

**目標** 毎年度0.2ポイントの増加をめざすものです。

基本方針	2-5-5	単位	現状	年度別目標					
学校トイレの洋式化率	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		35	41	44	47	50	53	56	

学校環境整備の進捗状況を示す指標です。

**現状** 平成29年度までの所沢市立小中学校のトイレの洋式化率です。

**目標** 令和6年度までに56%をめざすものです。

基本方針	2-5-6	単位	現状	年度別目標					
市内小中学校における電子黒板の導入割合	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		17	24	29	35	40	45	50	

「ICT環境整備」に資する電子黒板の導入割合を示す指標です。

**現状** 平成29年度の普通教室1室に対する電子黒板の導入割合です。

**目標** 令和6年度までに効果検証を図りながら50%をめざすものです。

基本方針	2-5-7	単位	現状	年度別目標					
特色ある私立学校の誘致	—	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		推進	推進						

私立学校の市内設置に関する誘致を進めるため、教育機関等への誘致活動を示す指標です。

**現状** 市内への学校設置を検討している法人の相談や情報提供に対応しています。

**目標** 計画期間中の誘致活動を推進するものです。

